

| 学びの姿                         | Feel   | Feel & Try                                     | Feel & Try & Think                       | Feel & Try & Think & Connect                          |
|------------------------------|--|--|--|---|
| 多様性を大切にする                    | 自然のなかに身を置く感覚を楽しむ                             | 活動を通して関わる食べ物を、「いのち」あるものとして捉える                  | 多様な「いのち」が育まれる自然環境を大切にしたいと意識する            | そだてる・あじわう・つなぐ活動を通して、自分自身の行動とのつながりを自覚し、自然環境を大切にした行動をとる |
| つながりを理解する                    | そだてる・あじわう・つなぐ活動を、連続した流れとして意識する               | そだてる・あじわう・つなぐ活動を体験することで、ものごとが関わり合っていることを体感理解する | ものごとが相互に関わり、成り立っている仕組みを体系的に理解する          | 体系的にとらえた仕組みをより良くしていこうとする                              |
| 仲間と協働する                      | 仲間や地域の大人、ファームティーチャーやキッチンティーチャー等とともに活動する機会を持つ | 活動をともにする人たちと協力し合う                              | 協力し合う人たちの声に耳を傾け、一緒に考え、意見を交換する            | 協力し合って形となる成果を持つことで、協働する大切さを実感する                       |
| 日常的に問い合わせを持つ                 | そだてる・あじわう・つなぐ活動の場で、知りたいことや疑問に感じたことに意識を向ける    | 知りたいことや疑問に感じたことを表現する                           | 知りたいことや 1－3 疑問に感じたことを調べる                 | 調べたことをもとに、新たな問い合わせを持ち、学び続ける                           |
| 自己を肯定する                      | そだてる・あじわう・つなぐ活動に、積極的に取り組む                    | そだてる・あじわう・つなぐ活動を通じて、「自分でできた!」ことを実感する           | 「自分でできた!」という体験を重ね、自分の考えや取り組みを大切にする       | 新たなものごとに対して、自信を持って取り組む                                |
| フラットに観察する                    | 先入觀を持たず、ありのままの姿を捉える                          | ありのままの姿を捉えた観察対象から、さまざまな情報を収集する                 | 収集した情報を整理しながら、自分が持っている表現方法で描写したり、説明したりする | 収集した情報と取り巻くものごとを関連付けて、自分なりの表現方法で描写したり、説明したりする         |
| 知識<br>食環境にまつわる段階的なインプットからの習得 | 健康な体をつくる食べ方について、栄養に関する基本的な知識とあわせて理解している      |  |  |   |

| 学びの姿                         | Starter   | Challenger                             | Master                                   | Changemaker                                       |
|------------------------------|---|--|--|---|
| 多様性を尊重する                     | 生き物や食文化が多様にあることを重要だと認識する                        | 多様性を育む気候風土や自然環境への関心を高め、その風土や環境を大切にする   | 多様性を育む気候風土や自然環境を大切にするために必要な知識を求める        | 多様な生き物や食文化を未来につなぐ担い手として行動する                       |
| 体系的に社会を見渡す                   | 体感したことや考えたことを言語化する                              | 体感したことや考えたことを、地域の人達の役割や産業と関連付けて捉える     | 体感したことや考えたことを、学校で学ぶ教科で得られた知識と関連付けて捉える    | 体感したことや考えたことを、さまざまな事象と関連付けて捉えることで視野を広げ、横断的に社会を見渡す |
| 他者と協働する                      | 自分の役割を見つけ、役割分担しながら、協働していく大切さを理解する               | 自分の役割を果たし、関係する人たちと協力し合う                | 協働することで一人では成し得ない成果を生み出していく               | 協働して成果を生み出す経験を、ほかのものごとにも役立てる                      |
| 慣行や価値観を問う                    | 調べたことをもとに、新たな問い合わせ持ち、学び続ける                      | 自分が調べたことと照らし合わせながら、社会の慣行に自分なりの問い合わせを持つ | 持った問い合わせ体験や知識と紐づけて、身近な問題に設定する            | 設定した身近な問題を地域や社会に提起し、その解決に向けた一步を踏み出す               |
| 俯瞰して自分を見つめる・自らを変える           | 自分の学びや活動を俯瞰して振り返る                               | 自分の学びや活動を俯瞰して振り返り、自分の好奇心・関心に気づく        | 気づきを客観的に捉え、次の学びのための選択、行動に応用する            | 振り返りと気づきをもとに、社会の一員として、未来の自分や社会のための行動につなげる         |
| コミュニケーションを取る                 | 自他の考え方や気づきを尊重することの大切さを認識する                      | 自他の考え方や気づきを尊重しながら、伝え合い、周囲の人や友達に発信する    | 自他の考え方や気づきを尊重しながら、周囲の人や友達に伝えたいことを論理的に伝える | 自他の考え方や気づきを尊重しながら、伝えたいことを論理的に示し、地域や社会に共感を促す       |
| 知識<br>食環境にまつわる段階的なインプットからの習得 | 一人ひとりの食べ方や食習慣が、人間の健康だけでなく地球環境の健康にも影響することを理解している |  |  |   |

| 学びの姿                         | Get Started                                 | Get Involved   | Share Ideas   | Craft the Landscape                                     |
|------------------------------|---|--|---|---|
| 多様性を尊重する                     | 土に触れ、森や川に入り、生き物の個性を知ることで、まちの自然の恵みをあじわう機会を持つ | まちの景観を守りつなぐ人たちと交流し、主体的に関わっていく喜びを見出す                  | まちの景観は、人が関わることでつくられていくという理解を深める                       | 自分自身が、自然資源と人が織り成す景観の一部として存在することを大切にする                   |
| 体系的に社会を見渡す                   | まちの人や自然に触れ、自分なりの視点からまちの風景を見つめる              | まちの風景を、まちの歴史や気候風土、産業と関連付けて捉える                        | まちの風景をまちの歴史や気候風土、産業と関連付けて捉え、それらの関係性について自分なりの考えを持つ     | まちの風景のなかに存在する自分を俯瞰して捉え、ものごとの循環やそれらのつながりに意識を向けている        |
| 他者と協働する                      | まちの人たちと協力し合う活動に自らの役割を見つけて取り組む               | まちの人たちと教え合い、学び合う経験を積み重ねる                             | 多様な人たちとの教え合い・学び合いから、協働して実現できることの可能性に気づいている            | 活動するフィールドの境界を越えて、多様な人たちとつながり協働していくことで、暮らすまちの環境をより良くしていく |
| 慣行や価値観を問う                    | まちの暮らしを支える仕組みや産業に関心を持つ                      | より良くしていきたいと願うものごとに着目し、自分ごととして探究する                    | 探究しているものごとについて、共感や協力を得ながら、より良くしていくためのアイデアを考える         | 考えたアイデアを実現するために動き、新たな気づきを得て、次の行動につなげる                   |
| ものごとを多面的にみる                  | さまざまな視点からものごとを捉える体験を積み重ねる                   | 町内外の実践者たちとの交流により、既存の価値観にとらわれない多様な生き方を肯定する            | 身体感覚を伴う体験や多様な実践者の交流から、ものごとに対して柔軟な選択肢を持ち、多面的な見方で向き合う   | 柔軟な選択肢を持ち、多面的な見方でものごと向き合える力を、まちをより良くしていくために活用する         |
| 未来を予測する                      | 暮らすまちの特色や魅力について自分なりの考えと眼差しを携えている            | 多様な人との交流を通して、まちへの向き合い方や姿勢を学び、風景を捉える眼差しを磨く            | まちの人たちや自然資源を思い浮かべながら、見続けたい、あるいは見てみたいまちの風景を想像する        | 見続けたい、あるいは見てみたいまちの風景をつくるために、今できることを考え行動する               |
| 地域社会に参画する                    | まちの暮らしを支える仕組みや産業に自らが関わる機会を持つ                | まちの暮らしを支える仕組みや産業に関わる経験を通じて、より良い地域社会を築いていきたいという気持ちを持つ | より良い地域社会とはなにかを自分なりに考え、そのための具体的な道筋を計画、提案することで、まちに働きかける | 自らの計画を実践していくことで、まちを将来世代につないでいくことに貢献する                   |
| 知識<br>食環境にまつわる段階的なインプットからの習得 | まちの暮らしを支える（第一次）産業について基本的な知識を得ている            |  |   |   |